

環境モデル都市九州・沖縄3都市連合

共同宣言

降り注ぐ太陽の下、美しい海と緑の山々に囲まれた九州・沖縄地域は、古くから大陸との関わりが深く、また、明治維新や世界に先駆けた公害克服、自然を生かした地下ダム建設など、常に時代・社会の変革を先導してきた。

低炭素社会構築のため、文化・価値観の変革という、大胆な社会変革が求められている今、地理的・歴史的に関係が深い我々は、ここに「九州・沖縄の環境モデル都市3都市連合」を組み、再びこの地から、わが国、そして、世界に向けて、低炭素社会づくりの取組みを先導し、これを広く国内外にアピールするため、次のとおり行動する。

- 一、互いの取組について、密に連絡し合い、意見交換等を通じて、それぞれの取組のレベルアップを図る。
- 一、環境モデル都市の取組の促進のため、行政のみならず、市民、NPO、産業界、学術機関等の交流を進める。
- 一、低炭素社会づくりの成果を、3都市が共同して、積極的に国内外に情報発信する。

平成21年4月29日

北九州市長 北橋 健治

水俣市長 宮本 勝彬

宮古島市長 ↓ 地敏 壽